

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		茶品評会出品支援事業		担当課	農政畜産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	茶業振興係							活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	1	6	1	5	備考	ア	点	50 46	42 34	45 26	45	30	30	
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	報償費					イ									
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	茶品評会出品者					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	事業期間	年度～年度 (年間)					ア	人	5 2	10 14	10 15	10	10	10	10	
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト								イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価										
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	所管課による評価								
	財源内訳	千円																	
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円																	
	一般財源	千円	2,180	2,220	1,850	1,880	1,880	1,880											
	事業費計 (A)	千円	2,180	2,220	1,850	1,880	1,880	1,880											
人件費	人	0.575	0.575	0.575	0.575	0.575	0.575	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	茶業は近年リーフ茶相場の暴落により非常に厳しい経営を強いられているため、銘柄確立による単価向上及び生産技術の向上を図る必要がある。									
所要人員 (年間)	人	0.575	0.575	0.575	0.575	0.575	0.575												
人件費概算 (B)	千円	3,220	3,220	3,220	3,220	3,220	3,220												
(A) + (B)	千円	5,400	5,440	5,070	5,100	5,100	5,100	達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢・環境の変化 ・ 事業期間	各種品評会にて、個人の上位入賞を多数獲得し、団体賞である産地賞の獲得を目指す。									
事業目的	しぶし茶のブランド確立のために、各種製茶品評会（全国、県茶品評会）に継続出品しており、出品謝礼を交付することで品評会茶の出品を奨励する。																		
事業内容	出品謝礼の支払（出品茶1点当たり） 普通煎茶 10kgの部 70,000円 4kgの部 45,000円 玉露 4kgの部 70,000円 碾茶 4kgの部 70,000円																		
開始経緯	茶品評会茶への出品は、反当収量が激減し収入が減少するため、品評会への出品を控える生産者が多いことから出品者の負担軽減を図る目的で本事業を開始した。																		
実施状況	令和4年度の全国及び県茶品評会への出品に対して次のとおり報償費を支払い出品の取組みを支援した。 普通煎茶10kgの部 75,000円×11点=825,000円 4kgの部 50,000円×4点=200,000円 玉露4kgの部 75,000円×2点=150,000円 碾茶4kgの部 75,000円×2点=150,000円								改革 改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了				
成果	出品した茶が全国茶品評会にて2等に2点、3等に7点、県茶品評会にて1等に1点、2等に5点入賞するなど出品者の茶園管理技術、製造技術の向上が図られた。																		
課題	本事業において支払う謝礼金については、茶の市場価格や生産経費に基づき算定しており、生産者が本来得られたであろう利益の80%程度を補填する額となっている。しかしながら、茶の市場価格が低迷し、生産者の経営が厳しい状況であるため、品評会に出品する生産者が減少している状況である。																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		品評会対策事業		担当課	農政畜産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	茶業振興係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 5	備考	ア	全国及び県茶品評会出品茶生産者数	人	14 14	14 14	13 12	13 14	14 14	
(個別目標)	画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金補助及び交付金					イ								
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	志布志市銘茶研究会					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする							ア	上位入賞者数	人	5 2	10 14	10 15	10 10	10 10	
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	令和元 年度～ 年度 (年間)					イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価	
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)					
年間 トータル コスト	事業費	千円													有効性 評価		・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	
	財源内訳	千円																
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	932		484		832		1,034		1,034		1,034					
	事業費計 (A)	千円	932		484		832		1,034		1,034		1,034					
人件費	人	0.700		0.700		0.700		0.700		0.700		0.700		効率性 評価		茶業は近年リーフ茶相場の暴落により非常に厳しい経営を強いられているため、銘柄確立による単価向上及び生産技術の向上を図る必要がある。		
所要人員 (年間)	人	0.700		0.700		0.700		0.700		0.700		0.700						
人件費概算 (B)	千円	3,920		3,920		3,920		3,920		3,920		3,920						
(A) + (B)	千円	4,852		4,404		4,752		4,954		4,954		4,954		達成度 評価		各種品評会にて、個人の上位入賞を多数獲得し、団体賞である産地賞の獲得を目指す。		
(A) + (B)	千円	4,852		4,404		4,752		4,954		4,954		4,954						
(2) 事業概要																		
事業目的	各種製茶品評会出品茶の製造等に係る費用を助成し、出品者の負担を軽減すると共に、高品質化による上位入賞を目指す。																	
事業内容	製茶品評会出品茶の摘採製造及び仕上げ作業に係る費用を助成																	
開始経緯	各種製茶品評会への出品については、収量減による収入減や加工費用の増加など出品者負担が多いため、出品者が減少している。しぶし茶の銘柄確立のためには各種製茶品評会への出品が必要となることから出品者確保のため事業を実施した。																	
実施状況	令和4年度 出品点数26点に対する摘採製造・仕上げ作業に係る費用 1,362,983円うち補助金額 681,491円 出品茶生葉運搬用箱型軽トラ用幌2組 149,600円																	
成果	出品した茶が全国茶品評会にて2等に2点、3等に7点、県茶品評会にて1等に1点、2等に5点入賞するなど出品者の茶園管理技術、製造技術の向上が図られた。																	
課題																		
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了								
		改革改善案																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		環境保全型農業直接支払事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移										
				担当係	茶業振興係				活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	3		ア	補助金交付件数	件	3 3	4 4	4 4	4 4	4 4		
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金補助及び交付金					イ	補助金交付額	千円	11,845 11,845	13,136 13,136	16,725 16,725	17,206 17,206	17,206 17,206		
(施策)	体系	4	安全・安心な食の提供	対象	環境への負荷低減に取り組もうとする生産農家					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする		事業期間	H23 年度～ 年度 (年間)					ア	取組面積	ha	97 97	123 111	141 141	145 145	145 145	
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト																
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価		
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)						
年間 トータル コスト	財源内訳	千円	8,887		9,852		16,725		17,205		17,205		17,205		有効性 評価	環境保全型直接支払交付要綱により、本地業の事務は市が行うこととなっている。さらに、農業分野に於いても地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献していくことが重要になってきており、環境保全効果の高い営農活動に対する農業者に対して助成することは妥当である。			
	国県支出金	千円	8,887		9,852		16,725		17,205		17,205		17,205						
	その他特定財源	千円																	
	一般財源	千円	2,963		3,284		4,182		4,302		4,302		4,302						
	事業費計 (A)	千円	11,850		13,136		20,907		21,507		21,507		21,507						
	所要人員 (年間)	人	1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000						
人件費概算 (B)	千円	5,600		5,600		5,600		5,600		5,600		5,600		効率性 評価	助成金の額は国の要綱で定められている。				
(A) + (B)	千円	17,450		18,736		26,507		27,107		27,107		27,107							
(2) 事業概要																			
事業目的	有機農業または化学合成農薬、化学肥料を5割低減に取り組む生産者を支援し、農業生産に起因する環境への負荷を低減する。																		
事業内容	有機農業の取組 12,000a 12,000円/10a (国6,000円、県3,000円、市2,000円) カバークロップの取組 300a 6,000円/10a (国3,000円、県1,500円、市1,500円)																		
開始経緯	農業生産活動によるCO2の削減、地球環境への負荷低減を図るために、国が事業を創設した。																		
実施状況	令和4年度 有機農業の取組 13,822a 16,586,400円 カバークロップの取組 231a 138,600円																		
成果	有機農業の推進が図れた。																		
課題																			
				○ 拡充		現状維持		改善		効率化		廃止終了		改革改善案					

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		有機転換推進事業		担当課	農政畜産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	茶業振興係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	1	款	6	項	1	目	3				3	0	0
(個別目標)	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金補助及び交付金					イ	取組(交付対象)面積	a				2,300	0	0	
(施策)	4	安全・安心な食の提供	対象	新たに有機農業に取り組む農業者						成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする												2,300			
(施策)	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	R5 年度～ 年度 (年間)					イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円				4,600	0	0	有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	有機栽培への転換は、収量の低下や生産コストの増加、転換後すぐには有利販売(有機JAS認証取得できないため)に繋がらないなどの問題があるため、有機農業の生産を開始するにあたり必要な経費について支援することは有機農業の推進に向けて必要である。						
		その他特定財源	千円															
		一般財源	千円				0	0	0									
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	4,600	0	0									
		所要人員 (年間)	人				0.100	0.000	0.000									
		人件費概算 (B)	千円	0	0	0	560	0	0									
	(A) + (B)	千円	0	0	0	5,160	0	0										
(2) 事業概要											効率性 評価							
事業目的	新たに有機農業への転換等を実施する農業者に対して有機農業の生産を開始するにあたり必要な経費について支援する。																	
事業内容	取り組み面積 2,300a 交付単価 20,000円/10a 交付額 4,600,000円																	
開始経緯	みどりの食料システム戦略の実現に向けて、有機農業への転換等を実施する農業者に対して支援するため、国が新たに事業を開始した。																	
実施状況	令和5年度よりの新規事業のため、実績なし																	
成果	令和5年度よりの新規事業のため、成果なし									改革 改善案	○ 拡充	現状維持	改善	効率化	廃止終了			
課題																		